

4. 行政外部評価について

(1) 評価方法

ア これまでの経過

鎌倉市の外部評価は、平成 16 年度（2004 年度）に事務事業外部評価を、平成 18 年度（2006 年度）に施策進行外部評価を導入しました。そして、平成 31 年度（令和元年度/2019 年度）まで継続して取り組んできました。

こうした中、令和 2 年（2020 年）に新型コロナウイルス感染症が拡大し、令和 2 年度（2020 年度）及び令和 3 年度（2021 年度）は外部評価を実施しませんでした。外部評価は必要な取組であることから、コロナ禍であっても委員間協議ができる手法として、オンライン会議等を導入し、令和 4 年度（2022 年度）、外部評価を再開しました。

令和 2 年度（2020 年度）から計画期間がスタートしている第 4 期基本計画の施策体系に合わせ、令和 3 年度（2021 年度）から新たな内部評価が行われています。一方で、外部評価については、3 年ぶりの再開であること等を考慮し、全分野の外部評価ではなく、鎌倉市民評価委員会にて選出した施策の方針の評価をスポット評価として、実施しました。

イ 鎌倉市民評価委員会

鎌倉市民評価委員会は、行政評価アドバイザーが兼ねる専門評価委員と、市政への関心と行政評価の取組へ理解のある市民評価委員からなる外部委員会です。現在評価委員として活動中の委員は以下の通りです。（【】内は本委員会での役職。）

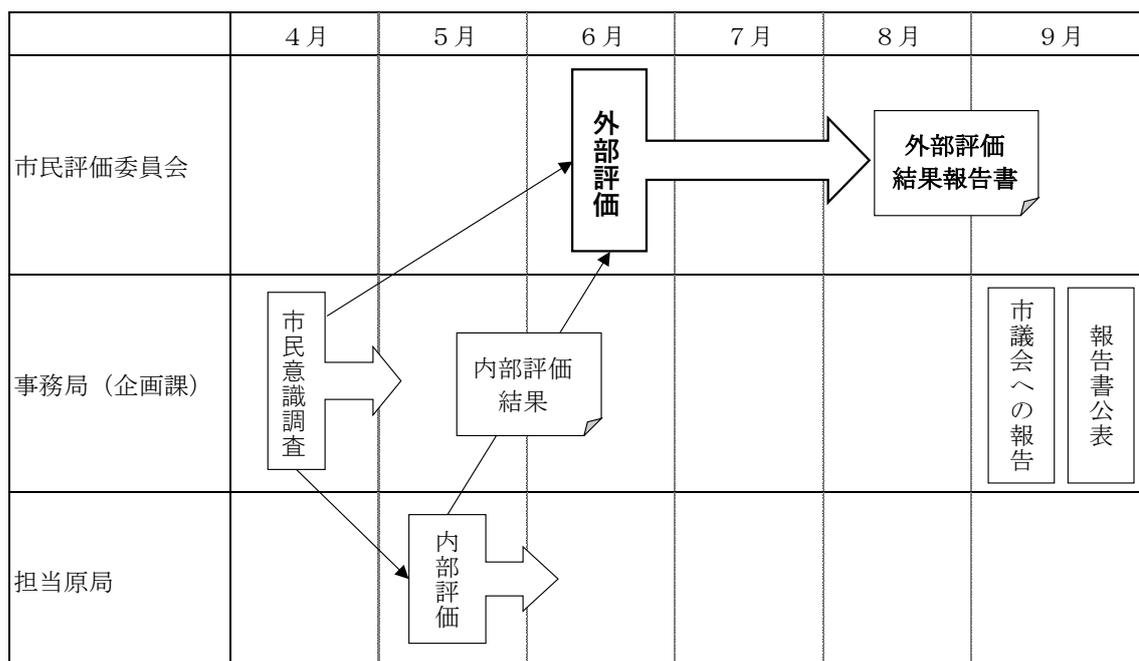
(ア) 専門評価委員（行政評価アドバイザーが兼務。）

- ・川口 和英【会長】
- ・柳谷 牧子
- ・山本 清孝

(イ) 市民評価委員

- ・柳生 修二【副会長】
- ・奥野 知佳
- ・小野 勝彦
- ・掛川 一代
- ・田中 千恵

ウ 行政外部評価の流れ



エ 令和4年度（2022年度）の取組

現在、鎌倉市は令和2年度（2020年度）を初年度とする第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の計画期間中です。そこで、今年度の外部評価は、第4期基本計画に位置付けられる施策の方針ごとに評価を行うこととしました。

評価手法としては、全ての施策を対象とする全分野評価と、一部の施策について、より深掘するスポット評価がありますが、令和4年度（2022年度）は、市民評価委員会の委員全員で協議した結果、委員間協議で決定した11の施策の方針に対するスポット評価を実施しました。

(ア) スポット評価

令和4年度（2022年度）の鎌倉市民評価委員会においては、スポット評価を実施するにあたり、特に評価委員が必要と認めた施策について、原局ヒアリング（3回）及び書面評価を行いました。

対象の施策は、次のとおりです。

○原局ヒアリング実施対象

- ・ 教育内容・環境の充実
- ・ 学校施設の管理・整備
- ・ 防災・減災対策の充実
- ・ 危機管理対策
- ・ 市街地整備の推進
- ・ 交通環境の整備

○書面評価実施対象

- ・ 緑の保全等
- ・ 都市公園の整備・管理
- ・ 3 R の推進・ごみの適正処理
- ・ 観光振興の推進
- ・ 観光基盤の整備・充実

(1) 令和4年度（2022年度）行政外部評価に係る鎌倉市民評価委員会日程・内容

	日 程	内 容
1	6月15日（講堂）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱式 ・ 会長及び副会長の選任について ・ 鎌倉市行政評価について ・ 委員会のスケジュールについて
2	6月29日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 スポット評価の方法について
3	7月6日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 原局ヒアリング① (防災・減災対策の充実、危機管理対策)
4	7月11日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 原局ヒアリング② (教育内容・環境の充実、学校施設の管理・整備)
5	7月15日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 原局ヒアリング③ (市街地整備の推進、交通環境の整備)
6	7月26日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 書面評価 (緑の保全等、都市公園の整備・管理、 3 R の推進・ごみの適正処理、 観光振興の推進、観光基盤の整備・充実)
7	8月3日（201会議室）	【スポット評価の意見交換】 総論、スポット評価取りまとめの意見交換
8	8月16日（201会議室）	【令和4年度行政外部評価まとめ】

(ウ) 評価方法

鎌倉市が作成した評価シートを参考に、専門評価委員と市民評価委員が令和4年度(2022年度)行政外部評価シートを作成し、委員会の議論を経て、スポット評価の対象となる施策の方針について、【取組の評価】、【効果の評価】、【評価できるところ】、【課題】、【提言】及び【質問】の6つの視点からとりまとめました。

- a 【取組の評価】
「↑ 以前よりよくなった」、「↓ 以前の方がよかった」、「→ 以前と変わらない」の3つから選択
- b 【効果の評価】
「○ まちの姿の実現に向け十分である」、「△ まちの姿の実現には不十分である」、「- どちらともいえない」の3つから選択
- c 【評価できるところ】
自由記述
- d 【課題】
自由記述
- e 【提言】
自由記述
- f 【質問】
自由記述

なお、a【取組の評価】及びb【効果の評価】については、評価シートの欄に記載があったもののみを集計しているため、委員全員の評価ではありません。

(2) 評価結果

鎌倉市民評価委員会による評価結果は次ページ以降、次のとおり示しています。

- ア 総評 (鎌倉市民評価委員会会長(専門評価委員)川口 和英)
- イ 令和4年度外部評価のまとめ
(鎌倉市民評価委員会副会長(市民評価委員)柳生 修二)
- ウ 令和4年度(2022年度)行政外部評価結果
- エ 令和4年度(2022年度)鎌倉市民評価委員会委員意見